

第431号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



共に生きよう



カット：本多紘子

今年も押し詰まり、慌ただしい季節となりました。皆様お元気で過ごしてでしょうか。猛暑の夏が長く続き、秋らしい秋が短く、一足飛びに寒い冬がやって来て気候の変動に驚いています。

今年もインフルエンザが流行しそうで心配ですが、それ以上に心配なのが新聞やテレビで報道される人里への熊の出没です。今年4月から10月22日までに熊により死傷した172人中の114人が市街地などの人里で被害に遭って過去最多を記録しています。被害者数が最も多い秋田県では10月2～22日に25人が襲われ、そのすべてが人里でした。熊が生息する山林地域に近い人里は本当に恐いことですね。

秋は熊が冬眠に備え、食物を食いだめる時期ですが、今夏の猛暑でドングリなどの木の実が東北地方では大凶作で食物を求める熊の行動範囲が広がり、人里での被害が拡大したようです。また狩猟免許を持つていた人たちが高齢化して猟師が減ったのも原因で、政府は熊の捕獲人材の確保策として、自衛隊や警察OBへ狩猟免許の取得を呼びかけています。熊だけでなく猪や猿や鹿などの野生動物が、畑の作物や果物を食い荒らし、農家の方や農園業者の方を嘆かせています。人と野生動物たちが、共生できる道を真剣に考えたいですね。

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

10月21日の臨時国会での首相指名選挙で、自民党の高市早苗総裁が第104代首相に選出され、日本の憲政史上初の女性首相が誕生しました。日本も男性社会から女性社会とようやく本格的に動き出したとはいえませんが、女性の地位が上がることを愚僧は心から願っています。自民党と日本維新の会の連立政権の枠組みのもと、少数与党という厳しい政治情勢ですが、子供たちに明るい未来をお願いします。中国の唐時代に活躍した善導大師の『礼讃』の初夜の偈に「諸衆よ聴け、初夜の無常偈を説かん 煩惱は深くして底なし 生死の海は無辺なり 苦を度するの船いまだ立たず 如何んが睡眠を楽しまんや」とあり、「すべての修行者よ聴きなさい。修行の始まる初夜に無常の世を説いた歌を説法します。我々の煩惱は自己中心で深く底が無い。人間の生涯は迷いの世界であり何処まで行っても苦悩の海から離れられないのだ。苦しみの海のような世界から救ってくれる船はいまだ建立されていない。どうして安心して眠ることが出来るか」という意味の歌です。人間が便利で豊かな社会を目指して、18世紀半ばにイギリスで産業革命が起こり、動力機械の発明と応用で生産技術に画期的な変革をもたらし、手工業から機械制大工場へ発展し、社会・経済の大変革と発展がありました。だが、一部の国の一部の人だけが大きな恩恵を受け、世界の大多数の人は欲望や孤立で悩みや苦しみが深まったかも知れないとしたら、人間はどこに向かっているのだろうか。

令和4年の日本の自殺者数は2万320人で、過去2番目の少なさでしたが、その中で小中高生の自殺は過去最多の529人と増え続けています。学校関連や家庭の問題、精神疾患と関係しているのですが、特に女子中高生の自殺が増加しているのは悲しいことです。彼女たちはSNSの普及などによって緊張した対人関係の中で思春期を過ごしています。精神的にマイナスの影響を受けているのです。若者が現実逃避のために、咳止めやアレルギー止めの薬を過量服用して現実逃避をする社会、何とかして未来を明るくしたいですね。合掌(奥原 曇龍)

子供たちが誠実素直で生きられる 明るい世の中大人の責任 どんりゆう



カット：府川 綾

ともしび説法

日時・十二月 十八日(木)・午後一時半から四時まで。
一月 一日(月)・午後一時半から四時まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)



お釈迦様ものがたり 110

いよいよ「お釈迦様ものがたり」も終わりに近づいてきました。二千五百年前にインドで実在され、仏教の開祖として尊ばれ慕われたお釈迦様も80歳となり、体力も衰え、入滅(死)を迎えようとしています。

南方の仏伝では、お釈迦様の誕生も、成道(覚った日)も、入滅も共にヴェーサーカ月(五月)であるとせられ、日本や中国等では誕生は4月8日、入滅は2月15日であるとして花祭りや涅槃会の行事が営まれています。

お釈迦様の入滅のとき、いまサーラ樹が時ならぬ花を開いたとあるから、入滅はサーラの花の開く時期では無かったことが知られます。なおお釈迦様はヴェーサーリ付近で最後の雨期を過ごされ、その後やがて、自分は三ヶ月後に入滅するであろうと預言されました。

この預言の時は、雨期が終わってあまりたたない頃と思われるから、雨期がヴェーサーカ1月より二ヶ月後に始まり三ヶ月間続くので、雨期の終わりは9、10月の頃であり、それから3、4ヵ月後とすれば、入滅は翌年の1月または2月ということになります。

ヴェールワ村の安居中(雨期の勉強中)にお釈迦様は侍者のアーナンダに向かい、自分の亡き後には、お前たちは自己自身を所衣とし、他人を所衣としてはならない、仏教の正しい教法を所衣として、その他の者を衣り所としてはならないと言われました。それは曇りなき正しい自己の理性と、普遍妥当性の真理としての仏教の教法とが、最後のより所であるということを示されたものです。

お釈迦様は自分の滅後には、一般の在家者の人々に対しては、仏生誕の地(釈迦国ルンビニー園)、仏成道の地(マガダ国ブツダガヤ)、初転法輪の地(カーシー国ベナレスの鹿野園)、仏入滅の地(マッラー国クシナーラー)の四つを記念所として尊敬すべきことを述べられました。合掌 (奥原曇龍)

除夜の鐘静かに響く年の暮れ 感謝感謝で新年迎える 田辺多恵子



住職方と心光寺総代様たちの挨拶

ともしび法話

慌ただしい年の暮れとなりました。皆様がお元気でしうか。猛暑の夏から一変に冬が来た感じの年末、明るく頑張ろう。

お寺も秋の法要が無事に終わり、年末や新春の行事の準備で大変です。三歳の娘と4ヶ月の男児の育児もあり、皆様の応援のお陰で何とか来年も頑張れそうです。

心光寺坊守(ぼうもり) 府川 綾

『光陰矢のごとし』という諺通り、1年があつという間に来ました。皆様のお陰で心光寺も、前坊守の博子様亡き後、心配でしたが、綾様の活躍で安心していきます。

心光寺総代長 本家 豊彦

【除夜の鐘】のお知らせ

十二月三十一日・大晦日の午後2時より法要後の3時から4時まで鐘を撞きます。深夜の『除夜の鐘』ではなく、夕方に鐘を撞くのは平成30年から8回目です。心光寺の檀家以外の人も、駐車場が広いので、気軽に参拝し鐘を鳴らして下さい。

ともしび説法

日時・十二月 十八日(木)・午後一時半から四時まで。 一月 一日(月)・午後一時半から四時まで。

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて 電話・(086)420-1311 駐車場有り

(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

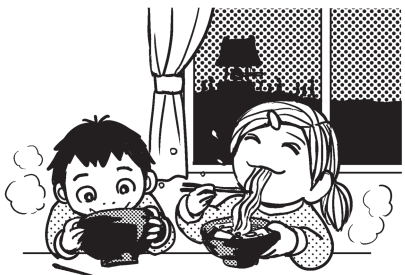
- 二月 十八日(水)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。
- 三月 十一日(水)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。
- 四月 十九日(日)・午後一時から四時頃まで・早高の本堂。

☆『ともしび』を、平成27、29年、平成30、令和2年、令和3年、令和5年と三年ごとにまとめて本としました。毎月1回のお寺の新聞が本となって、過去の忘れていたニュースを思い出し、人生をふり返れます。まとめた本が欲しい方は実費でお分けします。

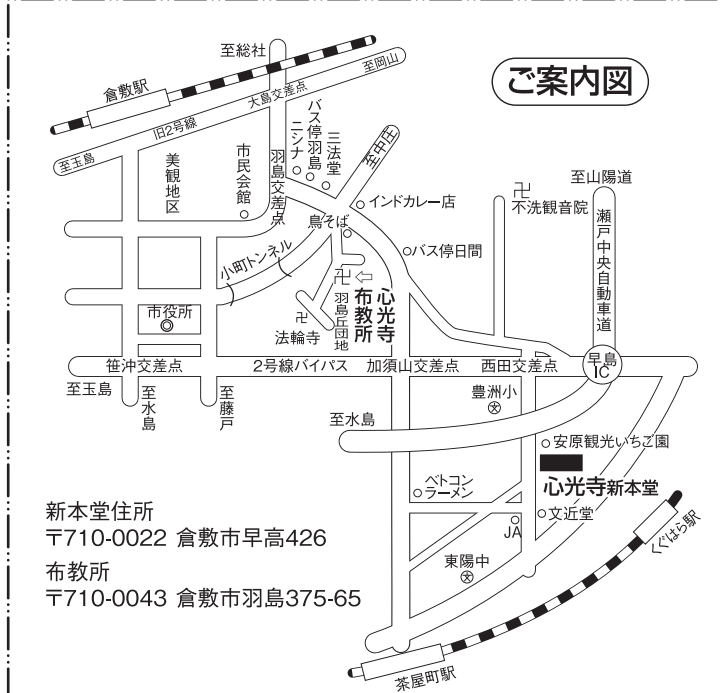


いころの詩

師走が来たよ 寒さが身にしむ季節 静かに今年をふり返る スイスイと思うようにはいかず 誠実さと円満な心も見失った それでも涙を流しつつ歩む デコボコ道こそ私の人生



カット:吉岡美枝



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございます。 玉野市 川西様 4千円

浄土真宗心光寺についてもっと知りたい方 お寺や『ともしび』について知りたい方

心光寺 倉敷 検索

〒710-0022 倉敷市早高426

浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「431号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。12月18日のともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は心光寺までご連絡下さい。合掌 総代長 本家豊彦